



仙台市学校教育情報化推進計画（令和5～9年度）

「これからの社会を、たくましくしなやかに生き抜く力を育む」
～子どもたちが主体的に学び取るために～

令和5年度 行動計画

SENDAI
GIGA SCHOOL

仙台市教育委員会

もくじ

仙台市GIGAスクールの方向性 …… 1

基本方針1 「児童生徒が、ICTを適切に使いこなし、 生涯学び続けるための資質・能力の育成」

- (1) 情報活用能力の育成
 - ① [カリキュラム・マネジメントによる体系的な育成](#) …… 2
 - ② [プログラミング教育の推進](#) …… 3
 - ③ [学校・家庭・地域における情報モラル教育・情報セキュリティ教育の推進](#) …… 4
- (2) 指導・学習のためのICT活用
 - ① [個別最適な学びの推進（指導の個別化、学習の個性化）](#) …… 5
 - ② [協働的な学びの推進](#) …… 6
 - ③ [探究的な学びの推進](#) …… 7
 - ④ [デジタル教科書・副読本の活用](#) …… 8
 - ⑤ [先端技術の活用](#) …… 9
 - ⑥ [ICT活用における健康面への配慮](#) …… 10
- (3) 学びを保障するためのICTの活用
 - ① [災害時等に学びを継続するためのICT活用](#) …… 11
 - ② [多様なニーズに対応するためのICT活用](#) …… 12
 - ③ [特別支援教育におけるICT活用](#) …… 13

基本方針2 「教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実」

- (1) 教員に求められるICT活用指導力等の向上
 - ① [教員の資質の向上](#) …… 14
 - ② [人材の確保等](#) …… 15
 - ③ [ICT支援員などの人的支援](#) …… 16

基本方針3「ICTを活用するための環境整備」

- (1) 安全・安心なICT環境の構築
 - ① [1人1台端末等活用のための環境整備](#) …… 17
 - ② [デジタル教材等の整備](#) …… 18
 - ③ [教育データの利活用、教育DXの推進](#) …… 19
 - ④ [個人情報の保護等](#) …… 20
 - ⑤ [著作権への対応](#) …… 21

基本方針4「学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築」

- (1) 学校の情報化の推進
 - ① [情報化による校務効率化](#) …… 22
- (2) 教育の情報化に関する推進体制
 - ① [学習の継続的な支援等のための体制の整備](#) …… 23
 - ② [調査研究及び情報発信](#) …… 24
 - ③ [地域、大学や民間事業者等との連携](#) …… 25
 - ④ [市民の理解と関心を高める取組](#) …… 26

仙台市GIGAスクールの方向性

仙台市のGIGAスクールの方向性を3段階に分けて示したもの

SENDAI GIGA STEP 1

令和3年度～

児童生徒が、ICT活用に慣れる

- 授業活用（まずは、触れる・使う）
- 日常での利用（教科以外）
- 端末持ち帰り練習（非常等の備え）



端末の持ち帰り

- 各学校情報活用能力育成の年間指導計画の作成

- みやぎ情報活用ノート
- OVR教材の利活用

デジタル教材
(VRコンテンツ)



- GIGAスクール端末運用業務ヘルプデスク支援（GIGAスクール運営支援センター）
- ネットワーク増強（SINET活用）
- 仙台市GIGAスクール推進協議会の設置
- プログラミング教材の配備
- 仙台GIGAスクールサポートサイト開設

SENDAI GIGA STEP 2

令和4年度～

児童生徒が、ICTを「当たり前・日常的」に活用

- 情報活用能力を系統的に育成するための、カリキュラムマネジメントの推進
- プログラミング教育・STEAM教育・情報モラルや情報セキュリティ教育の推進



プログラミング
・STEAM教材

- 情報活用能力を発揮しながら、豊かな創造性を育むための「**探究的な学び**」の推進
- 自らの学びをより良くするための「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」の一体的な充実

- 端末クラウドの日常利用化（授業と家庭学習等の連携）【**学びの保障**】

- 児童生徒の情報活用能力の実態把握と、学校現場に有用な情報の積極的な発信
- デジタル教材等の利活用の情報発信
- ICT支援員等による学校支援
- デジタル教科書の利活用（指導者・学習者）
- 「MEXCBT」「学習ポータル」の環境整備
- 教員用GIGA端末の環境整備
- 仙台市学校教育の情報化推進方針の策定

SENDAI GIGA STEP 3

令和5～9年度

児童生徒が、自分の学びを広げるICT活用

基本方針1「児童生徒が、ICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成」

- (1)-① [カリキュラム・マネジメントによる体系的な育成](#)
- (1)-② [プログラミング教育の推進](#)
- (1)-③ [学校・家庭・地域における情報モラル教育・情報セキュリティ教育の推進](#)
- (2)-① [個別最適な学びの推進（指導の個別化、学習の個性化）](#)
- (2)-② [協働的な学びの推進](#)
- (2)-③ [探究的な学びの推進](#)
- (2)-④ [デジタル教科書・副読本の活用](#)
- (2)-⑤ [先端技術の活用](#)
- (2)-⑥ [ICT活用における健康面への配慮](#)
- (3)-① [災害時等に学びを継続するためのICT活用](#)
- (3)-② [多様なニーズに対応するためのICT活用](#)
- (3)-③ [特別支援教育におけるICT活用](#)

基本方針2「教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実」

- (1)-① [教員の資質の向上](#)
- (1)-② [人材の確保等](#)
- (1)-③ [ICT支援員などの人的支援](#)

基本方針3「ICTを活用するための環境整備」

- (1)-① [1人1台端末等活用のための環境整備](#)
- (1)-② [デジタル教材等の整備](#)
- (1)-③ [教育データの利活用、教育DXの推進](#)
- (1)-④ [個人情報の保護等](#)
- (1)-⑤ [著作権への対応](#)

基本方針4「学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築」

- (1)-① [情報化による校務効率化](#)
- (2)-① [学習の継続的な支援等のための体制の整備](#)
- (2)-② [調査研究及び情報発信](#)
- (2)-③ [地域、大学や民間事業者等との連携](#)
- (2)-④ [市民の理解と関心を高める取組](#)



	学習目標	学習内容
活動スキル	情報を集めたり、発信したりする際、手段の特性を意識して活用することができる。	A1:記録と編集 A2:PCの操作 A3:ウェブ検索 A4:図書利用 A5:インタビュー A6:アンケート A7:メモ A8:口頭発表
探究スキル	情報の収集・編集(整理・分析や表現)・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。	B1:取捨選択 B2:読み取り B3:創造 B4:伝達内容の構成 B5:表現の工夫 B6:受け手の意識 B7:学習計画 B8:評価と改善
プログラミング	コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値や自らの将来に関連付けて考えることができる。	C1:物事の分解 C2:情報の分類 C3:情報の関係付け C4:問題解決の手順 C5:試行錯誤 C6:データの傾向 C7:情報技術の将来
情報	情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用	D1:コミュニケーション D2:法と権利 D3:健康と安全



基本方針 1

(1)-① カリキュラム・マネジメントによる体系的な育成

カリキュラム・マネジメントを充実させ、発達の段階に応じて、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していく。

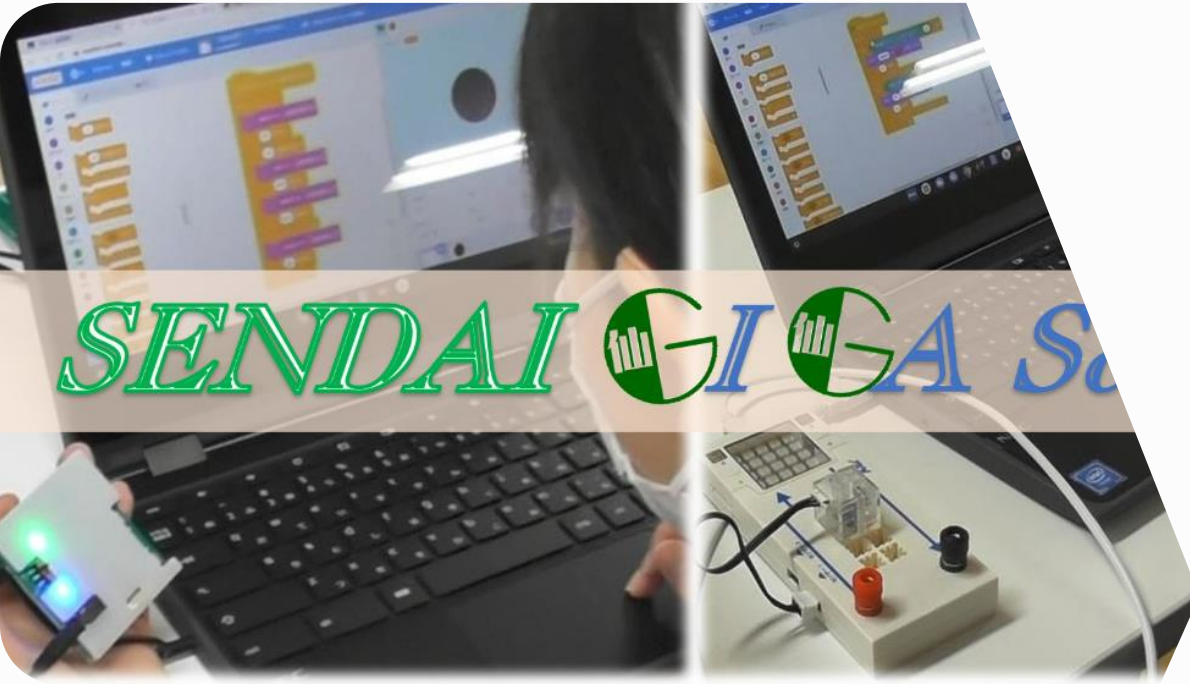
- A 市立学校が、情報活用能力に関する意識調査の結果をもとに、情報活用能力育成の年間指導計画を作成
- B 市立学校が、教育用クラウドを日常的に活用（常時家庭での活用も含む）できる情報活用能力育成の年間指導計画を作成
- C [みやぎ情報活用ノート](#)のデジタル化と、[StuDX Style](#)等を参考にした授業事例の普及
- D ICTとこれまでの実践の最適な組合せ事例の研究を行い、事例を発信

R5 行動計画

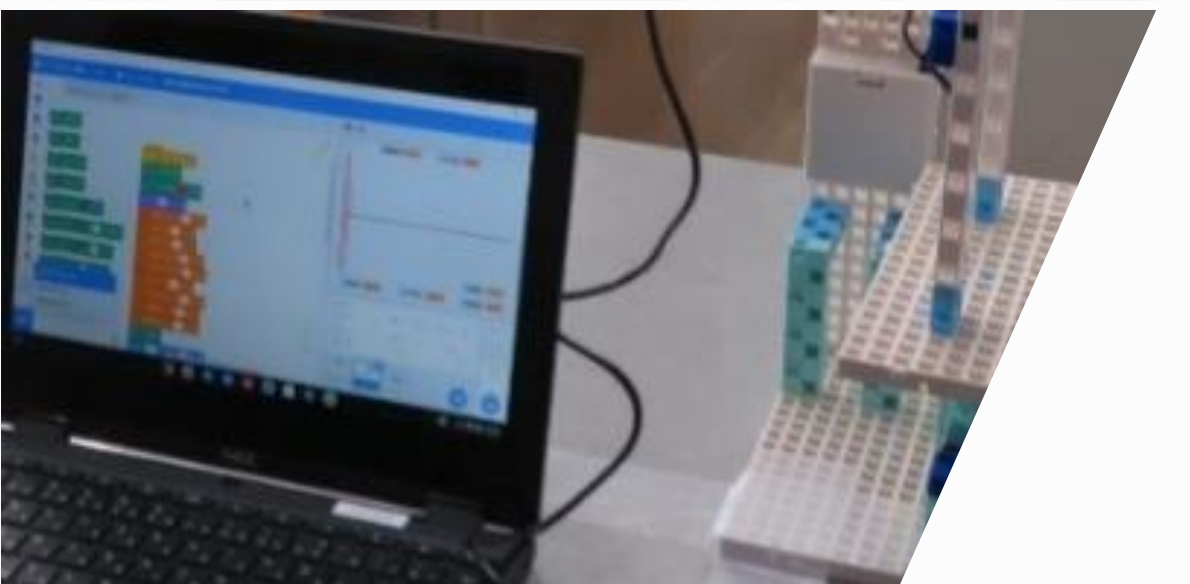
	教育委員会	学校
A	モデルカリキュラムの内容を適宜見直し、各学校に周知	情報活用能力育成の年間指導計画を作成
B		
C	デジタル化5事例程度（みやぎ情報活用ノート）と、StuDX Styleの事例を、情報発信し学習eポータル等に登録	校内周知・実践等
D	ICTとこれまでの実践の組合せ事例の発信	

図. (仙台版)情報活用能力の年間指導計画(見本)
「仙台市教育センターWebページ」より閲覧可能
[ここをクリック](#)





SENDAI GIGA School



基本方針 1

(1)-② プログラミング教育の推進

校種間の連携・接続を考慮して、学校で系統的にプログラミング教育やSTEAM教育を実施する。

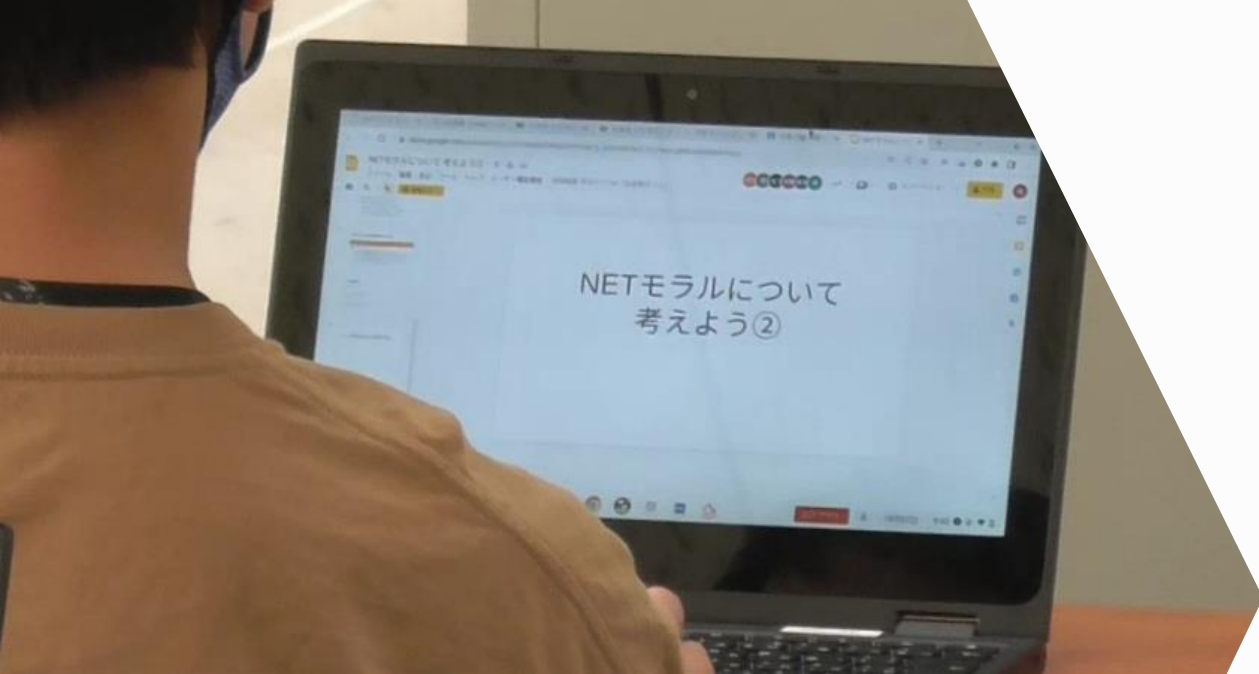
- A 市立学校で、系統的（教科等横断的）にプログラミング教育を実施
- B 市立小中学校で、プログラミング教育やSTEAM教育を、全学年及び全教科等で実施
- C 毎年、プログラミング教育やSTEAM教育の事例（プログラミング検定等）を作成し、積極的に発信

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	系統的（教科等横断的）に実践できるプログラミング教育の事例（小中学校全学年分）の収集	校内周知・実践等
B	プログラミング教育やSTEAM教育の実践できる事例（小中学校全学年分）の紹介	事例報告
C		

写真、仙台市で行われたプログラミング教育・STEAM教育の実践の様子
（仙台GIGAスクールサポートサイト「実践紹介等」より動画視聴可能）

[ここをクリック](#)



みやぎ情報活用ノートの利活用例



上記カード等を電子化し、
1人1台端末での実

写真. みやぎ情報活用ノートの情報モラル教材の実践の様子
(仙台GIGAスクールサポートサイト「実践紹介等」より動画視聴及び教材のDL可能)
[ここをクリック](#)

基本方針 1

(1)-③ 学校・家庭・地域における情報モラル教育・情報セキュリティ教育の推進

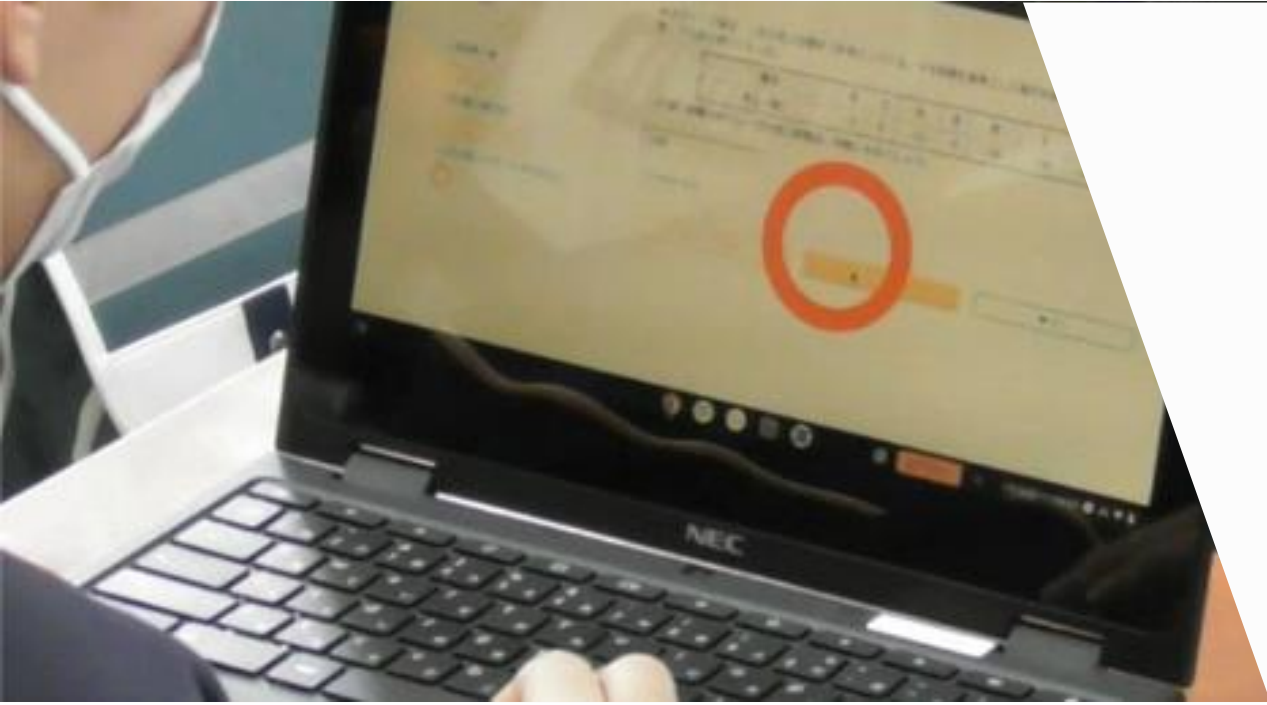
児童生徒の情報モラルの実態を把握し、家庭等と連携しながら情報モラル教育や情報セキュリティ教育を進める。

- A 児童生徒の情報モラルの実態を把握し、学校と家庭の両方で効果的に取り組める情報モラル教材等を活用して、市立学校で実施
- B 高度に発達した情報化社会に積極的に関わろうとする態度を身に付けるための取組を研究し成果を普及
- C 市立学校で、情報セキュリティ教育の実施

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	モデルカリキュラムの内容を適宜見直し、各学校に周知	実態把握に基づいた各学校の情報モラルの教育計画を作成 (情報活用能力育成の年間指導計画)
B	児童生徒の情報モラル(デジタル社会に積極的に参画する態度を含む)育成のための実践事例の紹介	校内周知・実践等
C	情報セキュリティ教育のための実践事例の紹介	





基本方針 1

(2)-① 個別最適な学びの推進（指導の個別化、学習の個性化）

学習改善に役立てていくため、ソフトウェア等の利活用等を通じて個別最適な学びを推進する。

- A 教育用クラウドやデジタルドリルなどの各種ソフトウェア等、せんだい電子図書館の利活用の普及
- B キャリア・パスポートの電子化（基礎資料の電子化も含む）の検討
- C 個別最適な学びを推進するための研究

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	教育用クラウドやデジタルドリルなどの各種ソフトウェア等、せんだい電子図書館の利活用事例を発信	校内周知・実践等
B	キャリア・パスポートの運用の事例収集（基礎資料の電子化も含む）と改善点の検討	
C	個別最適な学びの授業事例（他自治体の事例も含む）を発信	

仙台版キャリア・パスポート【小学校用】

仙台自分づくりノート

仙台市立		小学校	
1ねん	くみ	1ねん	組

写真. 上：デジタルドリル活用の様子、下：仙台版キャリア・パスポートの表紙



令和の日本型学校教育
「個別最適な学び・協働的な学び」仙台市実践

学習の個性化・協働的な学

その後、ひとり一人が、分かりやすく、
プレゼン(Googleスライド)にまとめます。



写真. 仙台市の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の
取組実践研究の様子

基本方針 1

(2)-② 協働的な学びの推進

児童生徒同士の対話・考えの共有・協力を通じた学びなど、多様な価値を認め合い、新たな価値を創造する協働的な学びを推進する。

A 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に関する各学校の取組事例を収集し発信

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の理解を深める研修を行い、併せて各学校の取組事例を収集し発信	校内周知・実践等 事例報告



せんだい教材映像アーカイブ

せんだい教材映像アーカイブは、学校教育や社会教育に活用することをねらいとして、教員や個人・グループが制作した映像資料をオンラインでも見られるようにしたものです。仙台市教育委員会が主催する自作視聴覚教材審査会で入賞した作品を中心に公開しています。

STEAMライブラリーとは

一人ひとりのワクワクを探究するためのオンライン図書館！



シゴト

企業とは？
知識はどんな風に
シゴトに役に立つ？



趣味・好き

スポーツ、音楽、料理...
好きを学習したい



社

世の中
自

写真. 探究的な学びを支えるコンテンツ例

(上: [せんだい教材映像アーカイブ](#)、下: [STEAMライブラリー](#))

基本方針 1

(2)-③ 探究的な学びの推進

地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、実社会での問題発見や課題の解決等に当たり、教科等横断的な視点に立った探究的な学びを進める。

A 教科等横断的な視点に立った探究的な学び(学習支援ソフトウェア等の利活用を含む)に関する各学校の取組事例を収集・発信

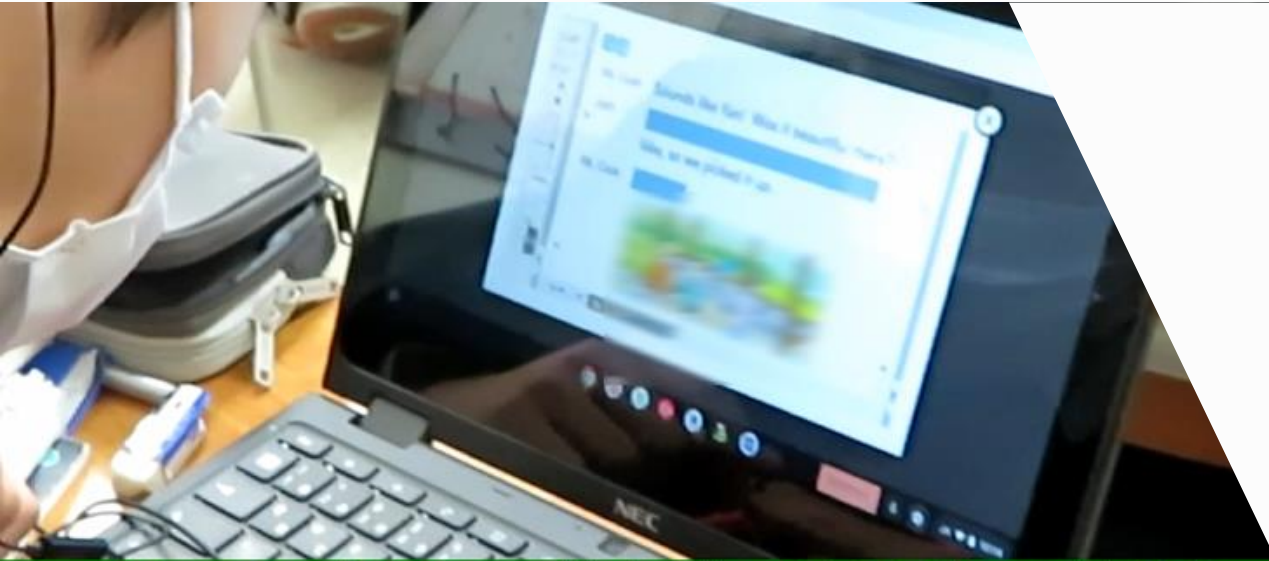
B 単元の工夫、[STEAMライブラリー](#)等の利活用、副教材等のデジタルコンテンツ化の研究成果の普及

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	教科等横断的な視点に立った探究的な学び(学習支援ソフトウェア等の利活用を含む)に関する取組事例の収集	校内周知・実践等
B	せんだい教材映像アーカイブやSTEAMライブラリー等のデジタルコンテンツの利活用事例を収集・発信	



もどる



① マスク機能で、英文読み練習(個別練習)
ネイティブな発音で、ガイドもしてくれます。

令和2年度 仙台版防災教育副読本

3.11 から
未来へ

4.1

基本方針 1

(2)-④ デジタル教科書・副読本の活用

学習者用・指導者用デジタル教科書について、効果的な利活用の情報を収集し
発信するとともに、各種研修に活用していく。

A 学習者用・指導者用デジタル教科書について、効果的な利活用の情報を収集・発信

B 紙とデジタル教科書、副読本のデジタル化に関しての検証を行い、効果的な利用に関する各種研修の実施

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	学習者用・指導者用デジタル教科書について、各学校の取組事例を収集・発信	校内周知・実践等
B	紙とデジタル教科書、副読本のデジタル化に関しての効果的な利用の事例を収集	事例報告

写真. 上: 学習者用デジタル教科書の利用時の様子

下: [デジタルコンテンツ化した仙台版防災教育副読本](#)





端末を、見やすいように縦に使ったりもできま



学校現場における先端技術活用 ガイドブック (第2版)

—「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」の成果を踏まえて—

写真. 上: [震災遺構荒浜小学校VR教材実践授業の様子](#)

【[VR教材サイトへ](#) (荒浜小VR、泉岳登山道VR 掲載)】

下: [学校における先端技術活用ガイドブック \(第2版\)](#) 文部科学省Webページより

基本方針 1

(2)-⑤ 先端技術の活用

教員を支え教育の質を高めるツールとしての先端技術を効果的に活用していく。

- A 防災や安全教育、自然や文化財等の学習教材のVR化を推進し、児童生徒の学びの充実
- B 先端技術によるデータの整理や分析の研究成果を普及

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	VR教材を作成し、実践校の授業事例を収集	校内周知・実践等 事例報告
B	先端技術によるデータの整理や分析の研究	-



もどる

タブレットパソコンを使用する際の、 しよ さい

め がめん いじょうはな
目を画面から30cm以上離す



せなか の
背中を伸ばす

しり うし ふか こし
お尻を後ろにして深く腰か、

— 1人1台端末の時代となりました—
ご家庭で気をつけていただきたいこと①

□ 端末を使うときの健康面の注意点について

端末を使うときの健康面でのポイントを、本人の習慣として身につけられるよう、学校でも指導しますが、特に低年齢のお子さま

写真、上：[姿勢をよくして画面から目を離そう！](#)（広教チャンネル無償映像教材）

下：[端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレット](#)（文部科学省）

基本方針 1

(2)-⑥ ICT活用における健康面への配慮

文部科学省のガイドブック等を参照しつつ、児童生徒の健康について、関係機関と適宜連携しながら実態を把握し、留意事項の周知・啓発を行います。

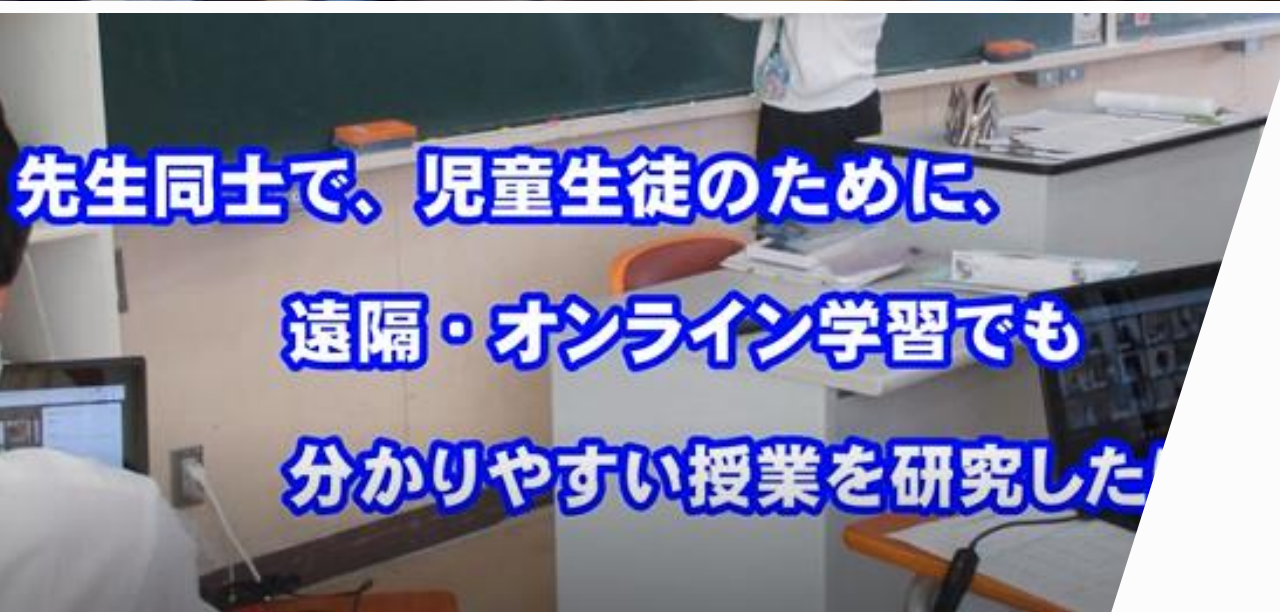
A ICT機器の利用と健康に関する実態を把握し、留意事項の周知・啓発

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	児童生徒の健康面に配慮した上で、児童生徒が個々の必要に応じて端末を使えるように周知	各学校での啓発



小学校1年生 — 教室で遠隔・オンライン学習の様子



**先生同士で、児童生徒のために、
遠隔・オンライン学習でも
分かりやすい授業を研究した**

写真. 仙台市の遠隔・オンライン学習の練習の様子

(上：小学校1年生の様子 下：先生同士による教材研究の様子)

基本方針 1

(3)-① 災害時等に学びを継続するためのICT活用

災害等の学校教育への影響が避けられない状況にあっても、児童生徒の学びを継続できるように、普段から対面授業とオンライン学習を効果的に組み合わせた学習等を行うための研究を進める。

- A 一定程度オンライン学習を組み合わせた授業を展開できるような事例の発信
- B 各学校において、普段から一定程度オンライン学習を組み合わせた授業の実施

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	平常時から端末を持ち帰り、学習改善に役立てている学校の事例	校内周知・実践
B	(指導計画)を収集し発信	

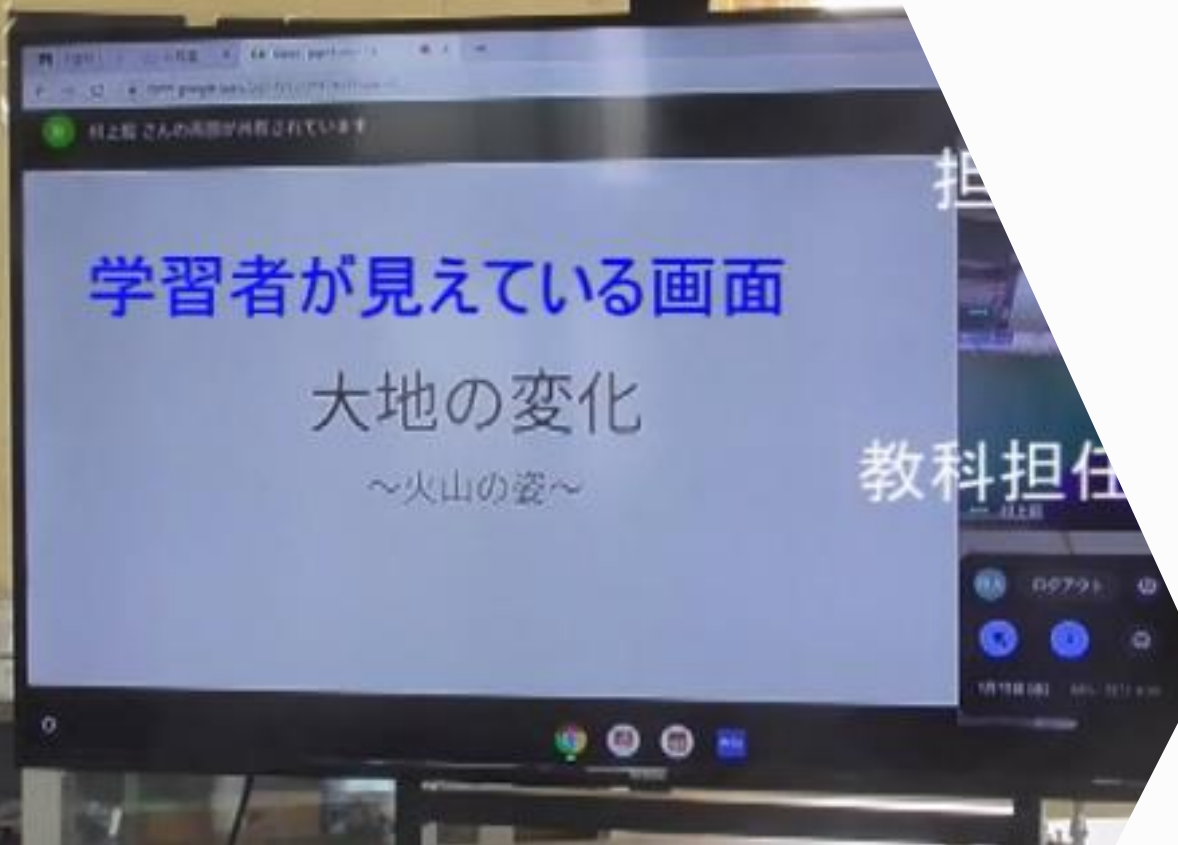


写真. 不登校児童生徒に、遠隔で支援している様子

C3 不登校の児童生徒を支援する遠隔教育・C4 病弱の児童生徒を支援する遠隔教育 - 遠隔教育事例紹介 - (文部科学省/mext channel) に動画掲載 [ここをクリック](#)

基本方針 1

(3)-② 多様なニーズに対応するためのICT活用

オンライン学習教材等を活用した不登校児童生徒等への学習支援等に取り組む。また、外国籍など日本語を母語としない児童生徒等について、ICTを活用することにより、一層の教育の充実にに向けた取組を進める。

A 市立学校に、不登校児童生徒等へICTを利活用した学習支援等の事例を発信

B 市立学校の日本語指導が必要な（外国籍など日本語を母語としない）児童生徒等について、ICTを活用した教育活動を普及

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	各学校が、多様なニーズ（不登校、日本語指導を要すること、あるいは特定分野に特異な才能を有することなどにより特別な支援が必要な児童生徒）等に対するきめ細かな支援のために、ICTを活用できるように取組を検討	令和6年度以降の情報活用能力育成の年間指導計画等に反映
B		



基本方針 1

(3)-③ 特別支援教育におけるICT活用

障害に起因する学習上または生活上の困難さを有する児童生徒が、1人1台端末を等しく活用するために特別支援学校や特別支援学級で入出力支援機器の利活用等の取組を進める。

- A 特別支援学校や特別支援学級での入出力支援機器の利活用事例や、有用なアプリケーションの普及
- B 院内学級の設置されていない病院に長期入院する市立学校に在籍する児童生徒に対しても学習の機会を保障

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	各学校が、病気療養や障害等の個別のニーズに対するきめ細かな支援のために、ICTを活用できるように取組を周知	令和5年度以降の情報活用能力育成の年間指導計画等に反映
B		

写真. 上：導入した入出力支援機器の一つ

下：病気療養児童生徒に、ICTで学習を遠隔で支援している様子

基本方針2

(1)-① 教員の資質の向上

ICT活用を前提とした授業づくりやプログラミング教育等の研修を充実し、教員のICT活用指導力を育成する。また、管理職への研修や、校内研修でリーダー的な役割を担うミドルリーダーへの養成的な研修を行い、情報活用能力の育成に関する内容を含めた校内研修の充実を図る取組を進める。

- A 教員のICT活用指導力チェックリスト等による現状把握・分析のもと研修を企画し、その成果の公開
- B ICT活用を前提とした授業づくりやプログラミング教育等の研修を充実
- C 教員の負担軽減を目的として、オンラインやオンデマンド形式での研修を開催
- D 毎年、管理職への研修実施
- E 校内研修でリーダー的な役割を担うミドルリーダーへの養成的な研修を毎年実施
- F 情報活用能力の育成に関する内容を含めた校内研修の充実を図る取組の推進
- G 支援を必要とする学校への研修や授業づくりに関する訪問支援を実施

R5 行動計画

	教育委員会	学校
A	教員のICT活用指導力チェックリストの結果に基づく研修の企画	教員ICT活用指導力の向上
B	各教科において、ICT活用を前提とした授業づくりやプログラミング教育等の研修実施	
C	教員の負担軽減を目的とした、オンラインやオンデマンド形式での研修の実施	
D	学校教育情報化に関連する管理職研修の実施	校内研修の実施
E	ミドルリーダーへの養成的な研修の実施	
F	校内研修の充実を図る取組の事例の収集	
G	支援を必要とする学校への研修や授業づくりに関する訪問支援を実施	事例報告

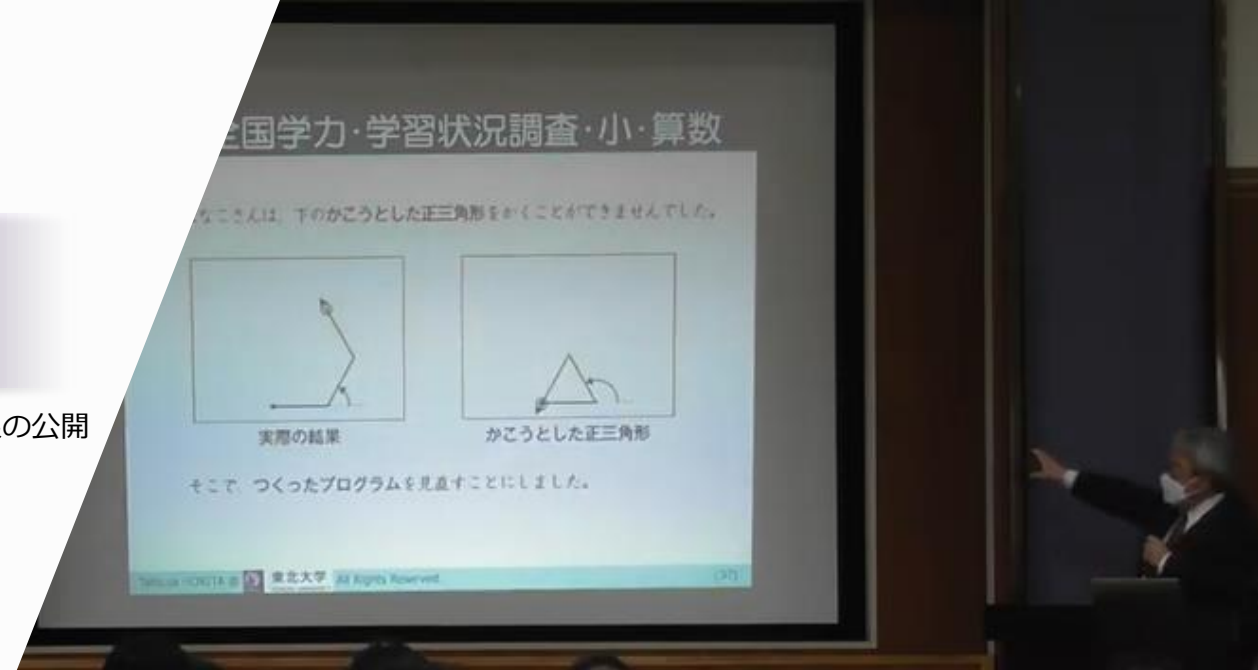
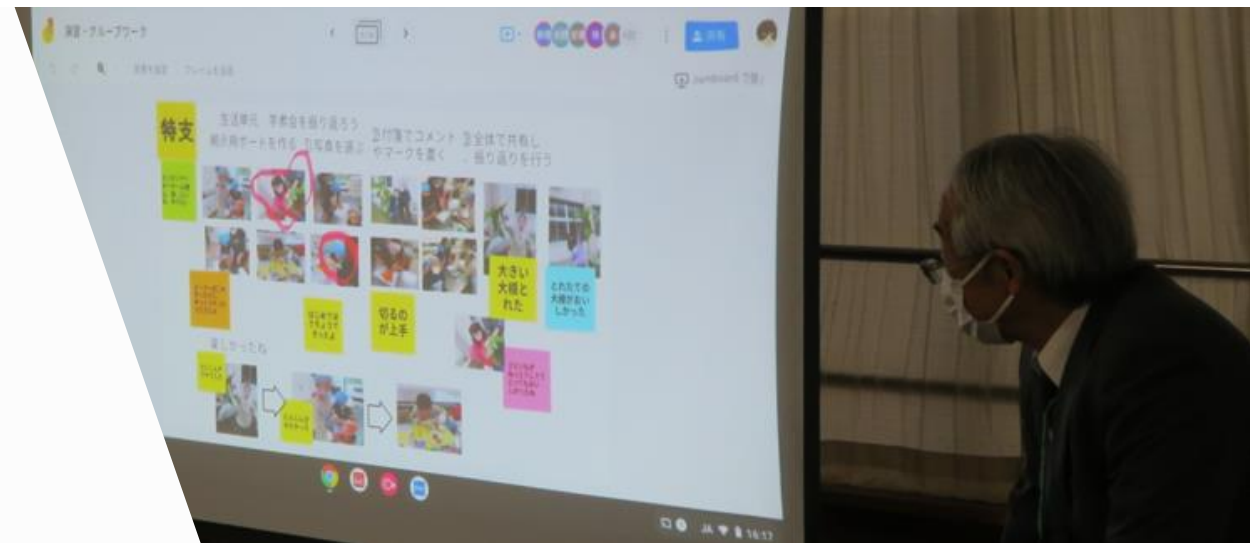


写真. 上：管理職研修（集合と遠隔のハイブリッド研修）の様子
下：学校に訪問し、Chromebookの利活用についての研修の様子



基本方針 2

(1)-② 人材の確保等

本市で教育実習生を受け入れる際も積極的にICTを活用する等、広く教員のICT活用指導力向上に資するよう取り組む。

A 教育実習生等にICTを活用した授業や活動を積極的に実施

B 高校の情報科への対応のため、教員研修の充実

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	教育実習生等へのICTを活用した授業や活動の紹介	必要に応じて実践
B	高校の情報科に対応した研修の実施	

ICTを活用した教育の推進

～協働的で一人一人に適切な学びの推進～



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、小中高等学校の児童生徒が一人1台端末を用いた学習を進めています。今後も「これからの時代を、たくましくしなやかに生き抜く力」を育むことを目標に、ICTの活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や多様な子どもたちに応じたICTを活用した学習支援など、質の向上を図っていきます。

また、校務支援システムや教育用クラウドの活用により校務の効率化も推進しています。

写真. 上: [仙台市教職員募集案内（パンフレット・説明動画）特設サイト内](#)
パンフレットの一部抜粋（仙台市教育委員会）

下: [高等学校情報科に関する特設ページ](#)（文部科学省）

文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY・JAPAN

> サイトマップ

> English

文字サイズの変更 小 中 大

🔍 絞り込み検索 | キーワード

サイト内検索 検索

お知らせ

政策・審議会

白書・統計・出版物

申請・手続き

文部科学省の紹介

[校、中学校、高等学校](#) > [教育の情報化の推進](#) > [教育の情報化に関する取組](#) > [情報教育の推進](#) > [高等学校情報科に関する特設ページ](#)

高等学校情報科に関する 特設ページ

2022年4月から、高等学校においても新しい学習指導要領がスタートしました。
このページでは、高等学校情報科の最新の情報を随時、お届けします。

基本方針 2

(1)-③ ICT支援員などの人的支援

ICT支援員について、効果的な利活用方法を各学校に周知していく。
また、学校向けヘルプデスクを運営し、教員の負担軽減を図る。

A 全市立学校に配置されたICT支援員について、効果的な利活用方法を周知


B 教員の負担軽減のため、GIGAスクール運営支援センターと同等の機能を有する学校向けヘルプデスク（GIGAスクール端末運用業務ヘルプデスク）の運営

R5 行動計画

	教育委員会	学校
A	ICT支援員の具体的な支援の内容がわかる学校支援事例集の作成・発信	ICTに関する支援等の活用
B	GIGAスクール端末運用業務ヘルプデスクの安定的な運営	

総合 【Chromebook】Chromebookを使うためのルールを学ぼう Case 101

学習活動 一人でChromebookを使えるようにする



《授業のながれ》
Chromebookの使い方について4週にわたり練習

- 1, 2週目：ログイン、カメラ撮影、取り扱いの注意、Chrome描画でお絵描き
- 3, 4週目：Google Classroom参加、Google Forms回答、Google meet参加

- Chromebookを定期的を使用することで基本的な操作の定着を図ることができます。
- Google ClassroomとGoogle Meetは持ち帰りを実施した場合の家庭学習やオンライン授業の練習ができます。

1

日本事例は実施校様より、画像掲載、事例掲載の許可をいただいております。

写真、ICT機器活用事例集（[仙台GIGAスクールサポートサイト内掲載](#)）

基本方針3

(1)-① 1人1台端末等活用のための環境整備

全市立学校に整備した児童生徒用及び教員用1人1台端末について、故障分の補充等により維持を続けていく。
また、学習者用・指導者用デジタル教科書等について効果検証を行いながら、今後の整備の在り方を検討する。

- A 回線がひっ迫することのないよう、各学校での回線利用状況を確認しながら、必要に応じて通信環境の増強等を検討
- B 児童生徒用及び教員用1人1台端末について、安定的な稼働に向けた、故障分の補充等や更新の実施
- C コンピュータ室としてのニーズが終了した後の活用は、各学校の事情に合わせて検討
- D 実証事業や研究の成果及び、整備等の効果検証をしつつ、より効果的な活用に向けた整備の在り方等を検討

R5 行動計画

	教育委員会	学校
A	各学校の回線利用状況等の確認を実施 一部学校で体育館のWi-Fi環境の整備	状況報告
B	児童生徒用及び教員用1人1台端末の破損状況の調査 児童生徒や教員の増減による端末移設	端末の破損状況報告
C	コンピュータ室としてのニーズが終了した後の活用方法の一つとして、情報活用能力の育成に資する新たなスペース等の研究	研究校での実践
D	指導者・学習者用デジタル教科書等の効果検証と次年度以降の整備の在り方等の検討	事例報告

「個別最適な学び」と「協働的な学び」に活用

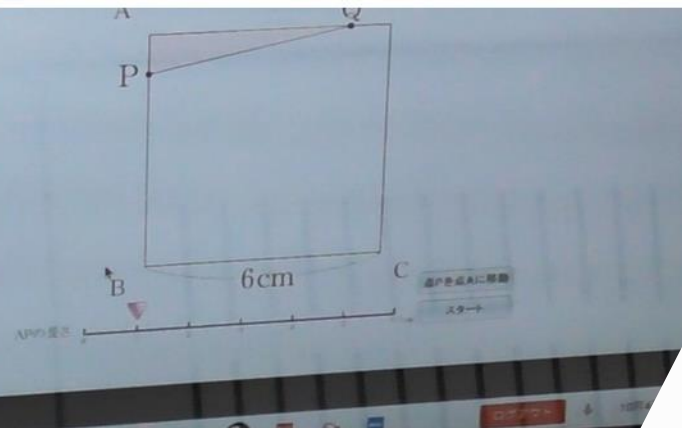


写真. 上：仙台市の教育用ネットワーク通信状況計測画面の一部

下：授業におけるデジタル教科書の利活用の様子

基本方針3

(1)-② デジタル教材等の整備

MEXCBTやデジタル化された副読本の整備を進めるとともに、先端技術の活用に関する研究を進める。

A デジタル化された副読本の整備を進めるとともに、先端技術の活用に関する研究の実施

R5 行動計画

	教育委員会	学校
A	仙台版防災教育副読本の効果的な利用の事例を収集	事例報告

MEXCBT 入門問題

◇操作方法のヒントを表示
◇先生方へ問題作成のヒント
※「入門問題 先生向け」を用意
◇児童生徒への指導にいかせる

問題を作成される先生方へ

解答するには、グラフィックインタラクションの画像を使用しています。

ヒントや解説も充実

入門問題で操作に慣れよう!

理科

3 津波が起こるしくみ(メカニズム)

津波は、主に海底で発生した地震によって起こります。地震で海の底が動いて、その上の海水をおし上げます。このおし上げられた水のかたまりが津波となって広がっていきます。東日本大震災ではこの海底で発生した大きな地震が原因で大津波が起こりました。

4 ふつうの波と津波のちがい

右の図のようにふつうの波は、風などの力によって一側側の波だけがおしよめますが、津波は大量の海水がかべのように押しよめてくるのです。津波は、高さが大層におし寄せられるため、威力も大きくせいり入りなどは、高さが10mを超えることもあります。

5 地震や津波による被害

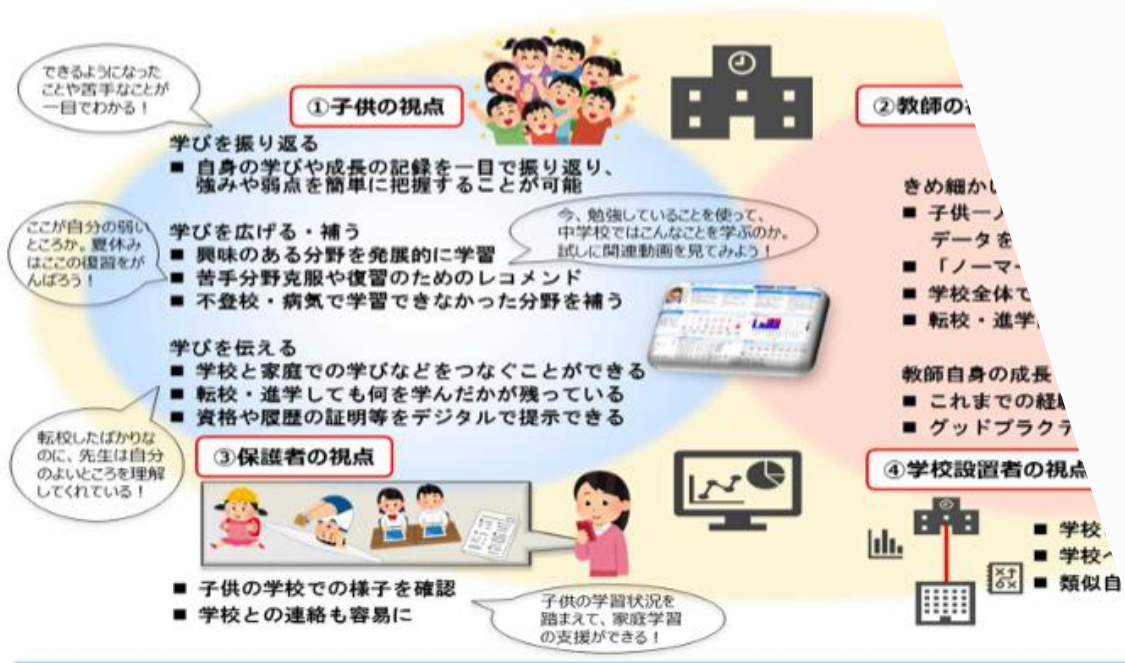
地震や津波は、多くの被害をもたらします。東日本大震災では、時に津波で多くの人や家庭、自然などが被害を受けました。大きな船が津波の方で簡単に陸上に押し流されたり、がんごんごん物が壊れたりしました。また、大規模な火災も発生しましたが、津波がこわれたり、浸水で逃げなかつたりして消火活動が思うように進みませんでした。

津波のメカニズムを動画でシュミレーションしてくれ

写真. 上: 「MEXCBT入門問題で操作に慣れよう」文部科学省Webページより

下: デジタルコンテンツ化された仙台版防災副読本の一部

3. 教育データの利活用の目的（将来像の具体的なイメージ）



基本方針3

(1)-③ 教育データの利活用、教育DXの推進

教育現場における学習者や教育者の日々の学習や実践の改善に資する教育データ利活用についての研究を進める。
また、学習eポータルやMEXCBTによるCBTで取得できるデータの利活用、キャリア・パスポートの利活用や電子化に関する検討も併せて進める。

A 教育現場における学習者や教育者の日々の学習や実践の改善に資する教育データ利活用（指導技術の可視化等を含む）について研究

R5 行動計画

	教育委員会	学校
A	学習履歴（スタディ・ログ）をはじめとした様々な教育データを活用する研究	事例報告



写真. 上：教育データの利活用に関する有識者会議 論点整理（中間まとめ）
文部科学省Webページより

下：学習eポータル（学びポケット）の画面



もどる

学校情報セキュリティ研修

● 本研修の進め方 ●

研修の受講にあたり、最初に動画を御視聴ください。この動画は、研修受講の有無

令和4年度 学校情報セキュリティ研 アンケート

(Eラーニング ※オンデマンド研修版) 令和4年11月30日(火)まで実施します。

- ・アンケートの回答は、各校1名のみでお願いします。
- ・アンケートの回答により研修の出席とします。

写真. 仙台市の情報セキュリティ研修(オンデマンド)の画面の一部

基本方針3

(1)-④ 個人情報の保護等

情報管理指針を毎年改訂し各学校に周知するとともに、セキュリティに関する支援をしていく。

A 各学校へセキュリティに関する最新の情報提供や研修等の支援

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	情報管理指針の改訂とセキュリティ研修の実施	校内周知・実践等



基本方針 3

(1)-⑤ 著作権への対応

授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）より許諾を受け、教員が他者の著作物を円滑に利用できるようにしていく。

A 著作権に関する最新の情報提供や研修等での支援

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	市立学校へ著作権に関する情報提供等の実施	校内周知・実践等



学校教育と著作権

🏠 > 学校教育と著作権

入門編

📖 学校教育と著作権（著作権法35条）（2019年4月22日作成）

📖 改正著作権法第35条運用指針（令和3（2021）年度版）（2020年12月著作物の教育利用に関する関係者フォーラム作成）（※）

📖 改正著作権法第35条運用指針（令和3（2021）年度）初等中等教育における特別活動に関する追補版（2021年11月著作物の教育利用に関する関係者

📖 授業目的公衆送信補償金制度の概要（令和2年12月）（文化庁作成）

※こちらに掲載されております資料は、複製、公衆送信等その他、ご自由に利用ください。

写真. [授業目的公衆送信補償金制度（SARTRAS）](#) のWebページ画面



基本方針 4

(1)-① 情報化による校務効率化

校務支援システムの利活用による働き方改革を推進するため、適宜システム改修を行う。学校と家庭との連絡機能の検討や、学校評価アンケート等のアンケートのデジタル化等による教員の事務負担軽減を図る。

A. 働き方改革を推進するため、校務支援システム等の利活用を検討

R5 行動計画

教育委員会		学校
A	学校と家庭との連絡機能やアンケートのデジタル化等の効果的な利活用の事例の収集	事例報告

アンケート集計ブックの作成

の回答結果をもとに集計した、アンケートブックが自動で作成されます。

アンケート集計ブックイメージ



写真. 自動集計システムの画面の一部

基本方針 4

(2)-① 学習の継続的な支援等のための体制の整備

教育の情報化を推進するため、教育委員会は本計画をもとに、全市的な環境整備等に取り組む。また、各学校はそれぞれの状況に応じて、本計画を学校経営に取り入れ、各教科等での学習活動に取り組む。

A 学校の情報化の推進に向け、仙台市GIGAスクール推進協議会の助言を受けながら、教育の情報化における取組等について検討し、各学校にその取組等を周知

B 本計画を学校経営に取り入れ、各教科等での学習活動で実施



写真. 上：仙台市GIGAスクール推進協議会の様子

下：仙台市学校教育情報化推進計画（令和5年度～9年度）
の基本的な考え方

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	教育の情報化における取組等について検討し、各学校にその取組等を周知	教育の情報化における取組等について検討し、校内にその取組等を周知
B	推進計画を踏まえた学校経営に関する校長研修の実施	推進計画を踏まえた学校経営

「これからの社会を、たくましくしなやかに生き抜く力を育む」
～子どもたちが主体的に学び取るために～

1) 情報活用能力の育成
これからの高度に発展した情報化社会を、「たくましくしなやかに生きる」ために、必要な資質・能力としての情報活用能力を育成します。

2) 学びに向かう力と、豊かな創造性の育成
○自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育成し、多様な学びで児童生徒に豊かな創造性を育みます。

3) 学校における働き方改革の推進
○学校の情報化を推進し、教員が児童生徒一人ひとりに向き合える環境づくりを進めます。

基本方針1 児童生徒が、ICTを適切に活用し、生涯学び続ける資質・能力の育成
基本方針2 教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実
基本方針3 ICTを活用するための環境整備
基本方針4 学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築

基本方針 4

(2)-② 調査研究及び情報発信

端末利活用の取組事例等に関する情報を収集し、その事例等について情報発信し、各学校が参考にできるようにする。

A 先進的な研究や国の事業へ積極的に参加し、仙台GIGAスクールサポートサイト内において、その成果や事例等について情報発信し、各学校が参考にできるようにする。

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	仙台GIGAスクールサポートサイト内において、先進的な研究や国の事業の成果や効果的な事例等について各学校に情報発信	校内周知・実践等



写真. 仙台GIGAスクールサポートサイトのTOP画面

基本方針 4

(2)-③ 地域、大学や民間事業者等との連携

市内教育施設との連携や地域の大学や民間事業者など、地域の力を学校の中に取り込み、学校をサポートする体制を検討・実施していく。

A 市内教育施設との連携や地域の大学や民間事業者など、地域の力を学校の中に取り込み、学校をサポートする体制を検討・実施

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	市内教育施設との連携や学校をサポートする体制の事例収集	事例報告

The screenshot shows a website header with navigation links: ホーム, 資料請求, お問い合わせ, サイトマップ, サイトポリシー, 個人情報保護, ご寄付のお願い, Language, Search... Below the header are links for 入学希望の方, 在学生・保護者の方, 卒業生の方, 採用担当の方, 一般・地域の方, 教育・学術関係, 報道関係. A main menu contains 入試・入学案内, 授業・学生生活, 就職支援, 研究・産学連携・地域連携, 図書館・研究施設, 国際交流. The breadcrumb trail is ホーム > 新着情報 > 仙台市教育委員会と「GIGAスクール構想実現のためのSINET活用等に関する研究」の共同研究に関する契約を締結しました. The main heading is 新着情報. Below it are three tabs: 入試, 教育・研究, プレス・メディア. The article title is 「委員会と「GIGAスクール構想実現のためのSINET活用等に関する研究」の共同研究に関する契約を締結しました」. The date is 2020年11月10日. The text states that the committee has signed an agreement for the joint research. It mentions that the research aims to investigate the use of SINET in the learning environment and that the committee will promote the GIGA School concept and improve the quality of learning. The article is attributed to Professor Hirofumi Hara from the Faculty of Education, Tohoku Gakuin University.

写真. 東北学院大学とのSINETに関する共同研究を締結
(東北学院大学Webページより)

基本方針 4

(2)-④ 市民の理解と関心を高める取組

仙台GIGAスクールサポートサイト等の更新を図りながら、端末利活用に向けた種々の情報提供を行う。

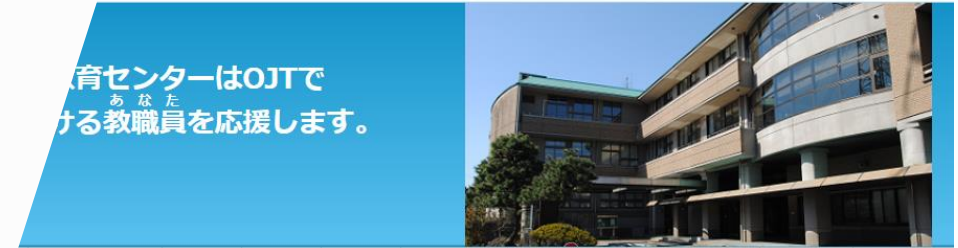
- A 仙台GIGAスクールサポートサイトや、教育センターのWebページで、利活用に向けた情報提供をする。
- B 仙台市教育委員会が主催や後援する学校教育の情報化等に関する理解と関心を深めるための市民公開講座等を開催する。

R5 行動計画

	教育委員会	学 校
A	保護者等のニーズを定期的に収集し、仙台GIGAスクールサポートサイト等を更新	校内周知・実践等
B	仙台市教育委員会が主催や後援する市民公開講座等を開催	

教育センター

TEL. 022-251-7441
〒983-0825 仙台市宮城野区鶴ヶ谷北一丁目19-1



教育センターはOJTで
あなた
を支援する教職員を応援します。

教育の情報化に係る研究

教育の情報化研究委員会Webページ ← 最新版のリーフレット等ダウンロードはこちら

情報教育部会関係資料

【情報活用能力 おすすめ単元表】

◇ [\(仙台版\) 情報活用能力育成 おすすめ単元表<小学校ver3> \(令和2年度版\) PDF](#)

[おすすめ単元表<小学校ver2>の空枠 \(Word形式\)](#)

◇ [\(仙台版\) 情報活用能力育成 おすすめ単元表<中学校ver2> \(令和2年度版\) PDF](#)

[おすすめ単元表<中学校ver1>の空枠 \(Word形式\)](#)

【情報活用能力育成 学習目標リスト】

◇ [\(仙台版\) 情報活用能力育成 学習目標リスト \(令和3年度作成\) PDF NEW](#)

【情報活用能力 おすすめ単元表を活用した年間指導計画】

◇ 情報活用能力おすすめ単元表を活用した年間指導計画について

[【情報活用能力おすすめ単元表の活用した年間指導計画の作り方 \(動画版mp4形式\)】](#)

[【情報活用能力おすすめ単元表を利用した年間指導計画の作り方 \(A4\) PDF】](#)

【年間指導計画表 (見本)】 [見本1 PDF](#) ※ 見本2

【年間指導計画表 (空枠)】 [年間計画のみ \(Word形式\)](#) [年間計画と系統表 \(Word形式\)](#)

その他】

[情報モラル指導資料](#)

[みやぎ情報活用能力育成プロジェクトWebページ](#)

【みやぎ情報活用ノート】ダウンロード可能

写真. [仙台市教育センターの情報教育に関するWebページ](#)